

# 噫妖雲は

(昭和十年寮歌)

川村真君 作歌  
荻野辰夫君 作曲

## 一

噫妖雲は狂へども  
迪を恵めし若人等  
巍然四寮に立籠もり  
覚醒の歌高誦ふかな

## 二

三年の契浅からず  
爛漫春を欺けど  
銀觴口辺にうつろへば  
名残の春を惜むべし

## 三

羊の群は去り行きて  
角笛遠くこだましぬ  
夏草深き丘上に  
月三更の影冴ゆる

## 四

不壊の生命と輝きし  
緑葉漸く紅葉して  
今玲瓏の谿谷に  
若き男の子の寮歌消ゆる

## 五

颯々の風音寒く  
橈の音孤弦の月を呼ぶ  
窓に佇む多感の遊子  
今宵何をか思ふらん

## 六

月影淡き楡の陵  
記念の祭終るなり  
篝火焚きて我は今  
静かに宵を誦はなん